

公立高校を めざすあなたへI



県立高校は、家庭の状況にかかわらず、
すべての意志ある高校生が安心して勉学に打ち込める
環境づくりをしています。

静岡県教育委員会

一人ひとりの個性や感性を大切に 可能性を伸ばす教育を大切にしています。

興味・関心に対応した学科

- 探究的な活動を通して、実社会での生きる力を育成しています。
- 専門学科では、実習などを重視した実践的な授業が受けられます。
- 総合学科では、多様な進路に対応した授業選択ができます。



充実したカリキュラムによる卒業後を見通した教育

- 学校や課程、科によって、それぞれ特色のある教育課程を編成しています。
- 少人数による授業、複数教員によるチーム・ティーチングを実施している学校もあります。
- グループ活動やICTを活用して、主体的な学習や対話的活動を大切にしています。

1週間で行う授業

普通科の例												
1年	国語	4	地歴	2	公民	2	数学	6	理科	4	保健	3
2年	国語	6	地歴	6	数学	5	理科	2	保健	3	英語	6
3年	国語	4	地歴	4	数学	6	理科	7	保健	3	英語	6
専門学科の例												
1年	国語	4	公民	2	数学	4	理科	2	保健	3	英語	3
2年	国語	2	地歴	2	数学	4	理科	4	保健	3	英語	2
3年	国語	2	地歴	2	数学	2	保健	3	英語	2	英語	2
総合学科の例												
1年	国語	4	公民	2	数学	5	理科	2	保健	4	英語	5
2年	国語	3	地歴	4	保健	3	英語	4	系列選択	4	英語	4
3年	国語	3	保健	2	英語	4	系列選択	10	英語	4	英語	4

※「総」は「総合的な探究の時間」を、「産業」は「産業社会と人間」(総合学科における履修科目)を、○数字は単位数(週当たり授業時数)を表しています。

授業について



学校生活3年間の一例

1年生	4月～5月	高校生に。新たな気持ちで勉強や部活動に。
	6月	文化祭。準備は大変、でもその分楽しさ。
	7月～8月	探究学習も本格化。地域でフィールドワーク。
	9月	体育大会。団結力が問われるクラス対抗。
	10月～3月	学習の成果を発表。2年次の課題を発見。
2年生	4月～8月	学校の中心的存在に。
	9月	学校見学やインターンシップで進路を考える。
	10月～1月	自らテーマを設定して探究学習。修学旅行の体験的学習で一回り成長。部活動では新人戦などで活躍。
	2月～3月	そして、いよいよ最終学年への準備。
3年生	4月～7月	学校の主役に。部活動にも勉強にも力が入る。それぞれの進路に向かって進む。
	8月	進路、就職試験準備も本格化。
	9月～3月	大学入学共通テスト出願、受験。大学等、それぞれ希望校の受験に挑む。
		9月に就職試験。志望する企業への内定を目指して面接練習。先生も親身になって指導。

頼もしい先生によるサポート

- 主体的・対話的で深い学びを実現するために、学力向上に効果的な指導に関する研修を積んだ優秀な教員が、魅力ある授業を展開。



「通級による指導」の実施

- 中学校から継続して支援を受けられるよう、静岡中央高校の通信制の課程で自校通級を行っています。また、希望する県立高校で巡回通級を行っています。学習上又は生活上の困難を改善・克服することを目的として実施し、困っている生徒を支援していきます。

個性豊かな人材の育成を県全体でバックアップ

進学

ひとりひとりの夢の実現

- 「行きたい学校づくり」推進事業による主体的・多様な学びの実現
- 医学部進学希望者には、医療現場を体験する場を提供
- 全国の大学と連携した授業等を実施
- 多様な進路希望に対応した進路説明会を実施



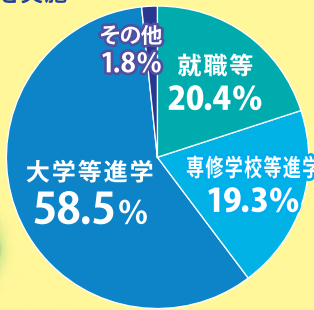
キャリア教育

就職

ひとりひとりの未来の開拓

- 多くの高校でインターンシップを実施
- 社会人との交流機会の充実
- 丁寧な面接指導や就職指導
- 就職説明会や企業訪問も数多く設定

就職内定率
(全日制)
99.2%



未来を創造する力を育む取組

魅力満載の公立高校

- スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業を活用した、理数系教育の充実
- 他県、他国の高校生との学習連携
- ふじのくにグローバル人材育成基金を活用して、国際交流や留学支援を実施
- あたたかみある定時制教育の推進として、就学支援や合同文化祭の実施



- 地域との協働と、地域での高校生の活躍
- ICTを活用した授業の実施
- 専門高校等における企業等と連携したプログラムの実施



高校生の探究学習に関する情報サイト「探QラボShizuoka」は
こちらから

